

◆米国国立公文書館が所蔵する国務省中国課機密文書のデジタル化

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

Archives Unbound アーカイブス・アンバウンド

米国国立公文書館所蔵資料デジタル・アーカイブ

国共内戦と米中関係 1945-1955年

The Chinese Civil War and U.S.-China Relations: Records of the U.S. State Department's Office of Chinese Affairs, 1945 - 1955

(Source Library: U.S. National Archives / Content: 46,492 images)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です



太平洋戦争（日中戦争）終了後、1946年に、中国は再び中国国民党（以下、国民党）と中国共産党（以下、共産党）に分裂し内戦状態となりました。このとき、共産主義を警戒していた米国は、蒋介石の支持を止めるわけにはいきませんでした。つまり、内戦後の中国が、米国の友好国となつて、米国に対して門戸を開き、ソ連の対抗勢力として成長する可能性を考えれば、国民党の実力者を繋ぎとめておく必要があったからです。一方、共産党は、スパイ行為による奉天の米国総領事を国外追放し、また、北京の米国公使館の財産を没収しました。こうした共産党の措置は、米国政府内の反共感情を醸成しました。さらに、国民党を駆逐し、49年10月に中華人民共和国（以下、人民共和国）を成立させると、共産党は、アヘン戦争以降の不平等条約で成文化された、西洋の政治支配の体系を打倒しようとしたのです。

本コレクションは、米国国立公文書館に所蔵されている、機密解除された国務省中国課ファイルの文書をデジタル化したものです。米国の対中政策策定の一翼を担った国務省中国課は、1949年革命とその前後の時代に関する情報を収集していました。本コレクションは、日中戦争・太平洋戦争後の国共内戦に関わる中国の国内問題や、アジアにおける米国の反共封じ込めの過程、内戦後の米中関係を規定した米国の政治動向などを記す貴重な資料です。

- ◆プラットフォーム: Archives Unbound
- ◆IPアドレス接続設定・同時アクセス無制限
- ◆ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整等のビューワ機能
- ◆印刷・PDFダウンロード可能
- ◆メール送信、書誌自動生成、ブックマーク機能
- ◆Google/Microsoftアカウントとのログイン



※本コレクションは Scholarly Resources 刊行のマイクロフィルム Records of the Office of Chinese Affairs, 1945-1949 をデジタル化したものです

第一級の学術研究史料をデジタル化！詳細は弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

